

園（所）・学校の行事や展示の準備に 知っておきたい知識

高 橋 裕

目 次

はじめに

文字

レタリング練習方法

レタリングで知っておきたいこと

看板本体の作り方

角材の骨組

布で作る

一般的な看板（種類と呼び名）

一般的な看板位置

部屋全体の看板本体を考える

紙の簡単で効果的な

看板本体を考える

紙足を作る

フレーム

紙本体も考える

フレームの作り方

柱巻き看板の作り方

誘導を考える

以外に邪魔になる足

もう少し知っておきたい知識

図形の拡大

円の中心を知りたい

展示物を照らす照明

簡単な柱を作る

手すりを飾る

天井を飾る

はじめに

最初にここに取り上げたことは、学校・幼稚園内行事に少しでもお役にたてばと拾い上げたものです。

まず、一つの行事（催事）を考えてみましょう。勿論、最初に企画（計画）ですが、次に予告・案内・会場作り・誘導方法やその制作方法などが考えられます。その中でも、学校・幼稚園などで最終的に問題になって来るのが看板類や会場作りだと思います。伝達方法には、映像・言葉・文章（図や絵）と色々な方法があります。その中の一例の看板ですが、スーパー・百貨店などお店で使われるPOP（商品説明・価格表示）は、もう一人の店員さんと言われるくらい重要なものです。この看板の代わりに人間が一つ一つ説明していたら大変な人員と時間になります。POPは一つの物を売る為の対話だとも言われていますから、その制作・展示位置・方法にプロの人達がいる訳です。でも、学校・幼稚園でプロに依頼して作ってもらう予算はないのですから、先生達が時間をみつけて制作されているはずです。

考えてみれば、本来は毎年の行事なのに、その都度作っているものが数多くあると思います。一般的に既製品は毎年大事に扱うのに、手作りの物は、一度限りで、その時の苦労と自分が作った物の愛情を行事が終わると忘れられていると思います。中には、昨年と同じ物ではどうしてもいけないものもあるでしょうが必要な物の大半は、使い回しのできる物だと思います。又、部分的な変更・差替えて使える物もあるはずです。

昨今、簡単で数を有するものはコピー機を利用されていますが、ワープロ・パソコン文字では書体に限りもありますし何と言ってもムードがないのではないのでしょうか。

ここで色々と「こうしなさい」と言うのでは有りません。こんなことを知っていれば良かったと思われることを挙げてみました。講義や授業の中に「展示・会場を作る」に関わるものは有りません。先生達が何度と無く経験して自分の得意なところなど分担してやられていることです。只、「私も知っていれば」自分でもできた。と思わないでいいようにディスプレイ（装飾）会社のチョットした知識などを入れ分かりやすく表現してみました。

文 字

最初に文字は出来るだけ大きく書くことです。せっかくの文字が小さくては何にもなりません。又、文字自体の線も太くすることです。

教室・保育室で使用する場合は、どんな書体でもかまわないでしょうが、対外的（公的）になりますとやはり一般的な書体を使用することをお奨めします。

明朝体・ゴシック体・その他の文字の紹介。

明朝体

保育

説明などに使う。一般的に使用される書体ですが見出しとしての迫力に欠ける。

ゴシック体

教室

タイトル・会場・会期に使う。一般的に使用される書体。

その他の書体

学外

スーボ体

作品

勘亭流

太く丸みを持った文字は楽しい行事に最適。

*明朝体はバランスが取りにくいので注意する。

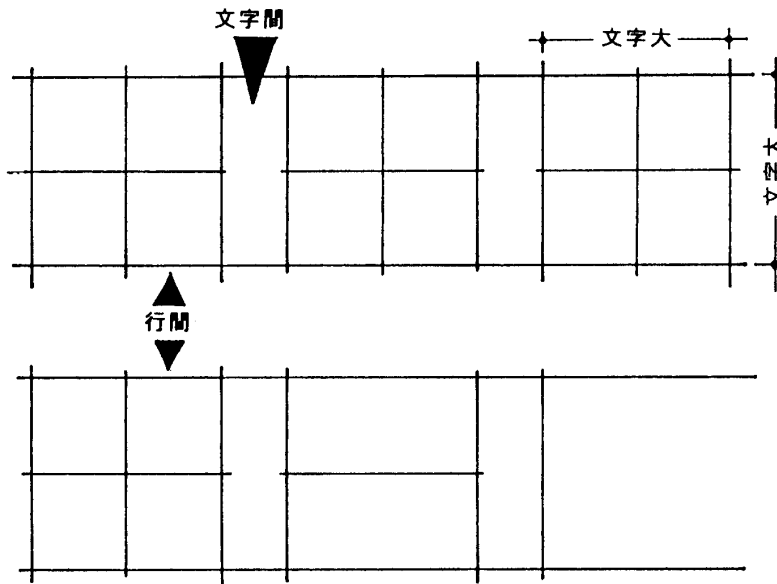
文字にはそれ自体にムード（雰囲気）があります。催事にあった文字を使いましょう。

◎作字（レタリング）に「書き順」は有りません。

ヨコ線を先に全部書いて後からタテ線をいれてもいいわけです。

レタリングの練習方法

1. スペースに文字割をします。大きさ・文字間・行間
2. 漢字は田を書いて書いていく。



3. 書こうとする文字の特徴をとらえる。
マス目（田）の中に文字を想像してみます。
4. 特徴（ポイント）を配置してすすめる。

レタリング 作字する上で知っておきたいこと

- へんはつくりよりも小さく。
- タテに二等分の作字は少し左に寄せる。
- 上下に割る文字は下部のスペースを多くとる。

- △ 国・日・園とかの四角の文字はマス目よりも一回り小さく書くと他のものとのバランスがとれます。
- △ 反対に木・大・公とかの斜線の多い文字はマス目から出るぐらいで書くと他のものとのバランスがとれます。
- △ 漢字とかなが入る場合はかなを小さく書きます。
又 字間も少なくしておきます。

*作字はなんと言っても練習です。文字のバランス・筆慣れ・書く手順の方法は、練習から生まれてくるものです。

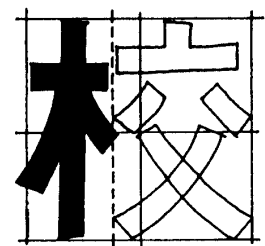
平体・長体文字は、文字間・行間の構成の中で使用。

長体

展

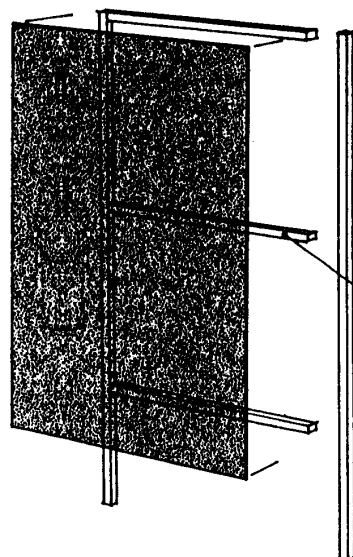
平体

展



看板（本体）の作り方

1. 角材の骨組＝一般的なもの。

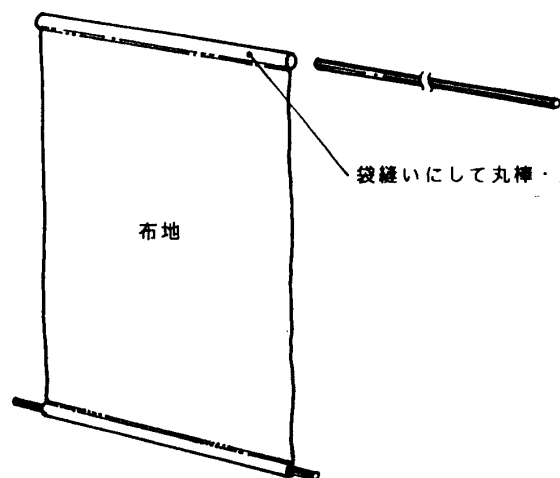


◎布看板はベニヤが布に変わる

角材は回りだけでもよいが、
反りがでるので本体が長くなる場合には
中の骨組の本数を増やす。

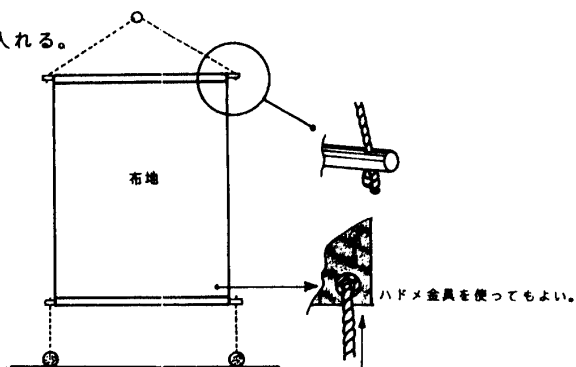
ベニヤに合わせて角材を切る方がよい。

2. 布で作る（垂れ幕・横幕）

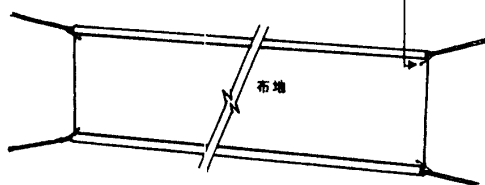


袋縫いにして丸棒・角材などを入れる。

* 棒を入れることでオモリになり布地がきれいに張る。



ハドメ金具を使ってもよい。



* アドバイス

大きな幕状の看板を屋外で使用する場合は、必ず風抜けの切込みを入れておくことです。

* 布地はキャラコ（白）にネオカラー（塗料）で書くのが良い。

下地の材料で絵の具（塗料）も変わります。又、使用場所が室内・屋外によっても変わります。

一般的な看板

A. 種類と呼び名

○立て看板（立ち看板）＝縦に長いものを一般的に言います。

立てかけたもの、又は独自で立っているもの

||

横看板＝横に長いものを一般的に言います。

○垂れ幕 建垂幕 ——— 布・ビニール・キャンパスシート

たれまく けんすいまく

一般的には店頭やビルの外壁に設置しています。

○横幕 ————— 上記と同じ材料

○差換え看板

足（本体）はそのまま看板（紙・ボード・パネル）だけを差し替える。

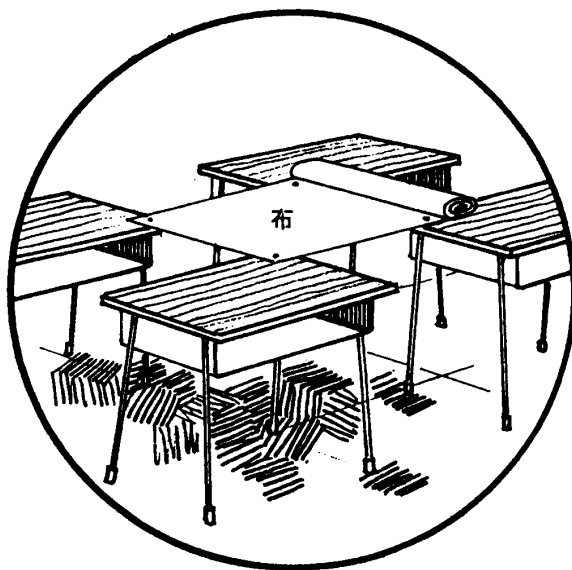
○その他の看板

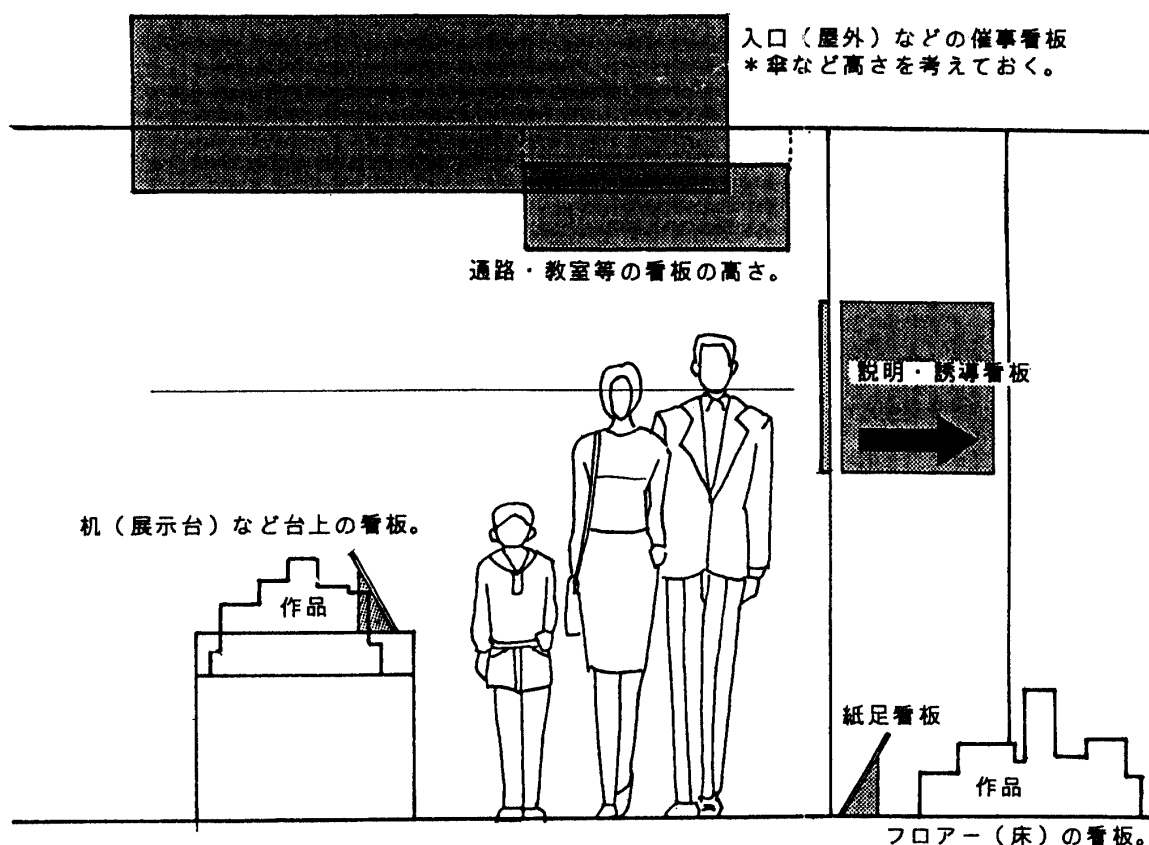
電飾などを使ったものやいろいろなものがありますのでここでは、紹介を避けます。

注意

布地に文字を入れる場合、床や机の上で直に書かない。

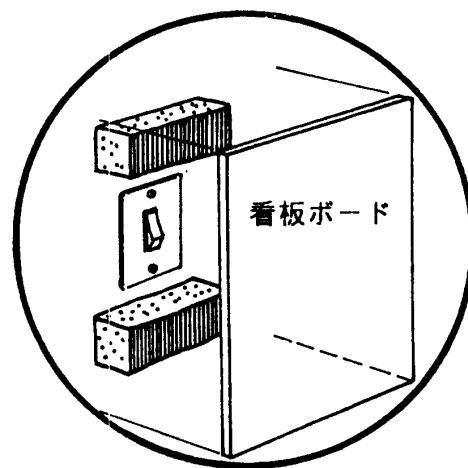
布を浮かして（机 四台の隅に止めて）書きます。





この絵は、一般的な看板の取付位置で描いたものです。
お母さんの目線1.5Mで描いています。
建物の造り・条件・看板の大きさなどその場の条件によって異なります。
例えば、説明・誘導看板を取付したい位置にスイッチなどが在って付けられない場合。俗に言う浮かせる方法をとるわけです。

このように、取付方法や色々な問題は回りに沢山あります。
少し工夫すれば解決方法は隠されています。
色々なイベントに行く機会には、少し違った視点で見れば役立つことが有るのではないのでしょうか。



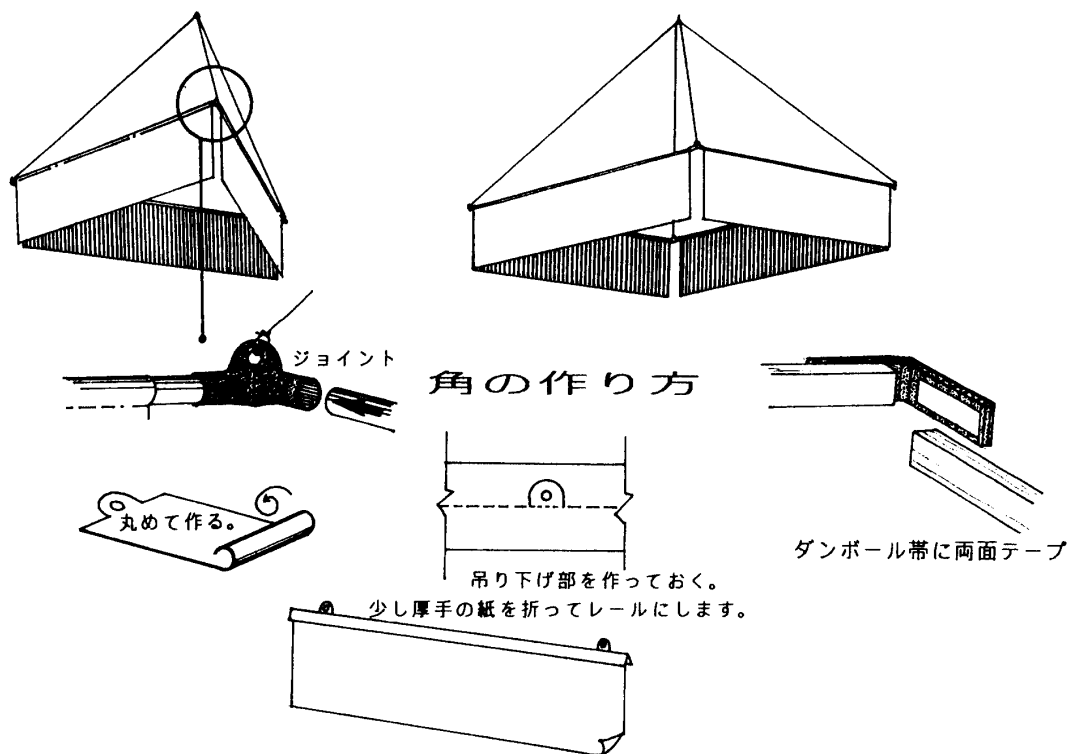
ハッポースチロール片や箱で
手が入るように浮かす。

部屋（展示室）全体の看板本体

部屋 全体から見えるものを作る

中央に吊ることができる場合は、四方（三方）から見えるので効果的な使い方ができます。

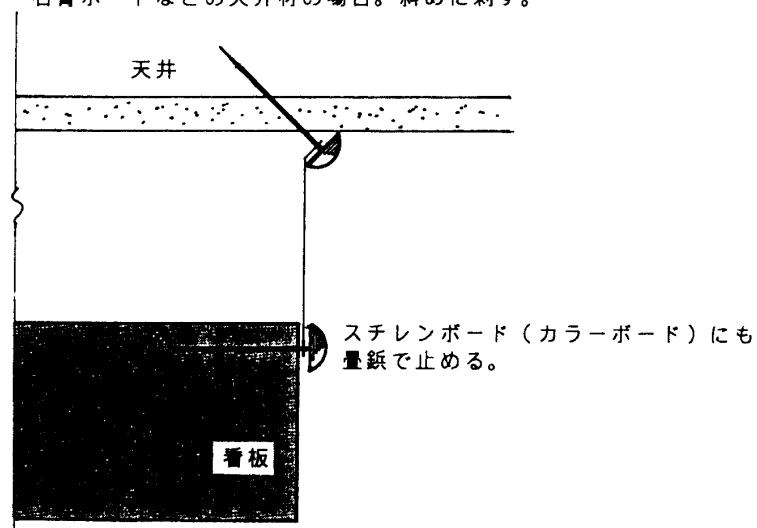
軸になる四辺（三辺）は角材・ダンボール・紙を折った物・丸めた物を使用しますが、天井から吊ることを頭において軽くなることを考えておきましょう。



吊る

*天井にとめる場合、畳紙（針の部分の長い物）を斜めにさしこみます。

石膏ボードなどの天井材の場合。斜めに刺す。



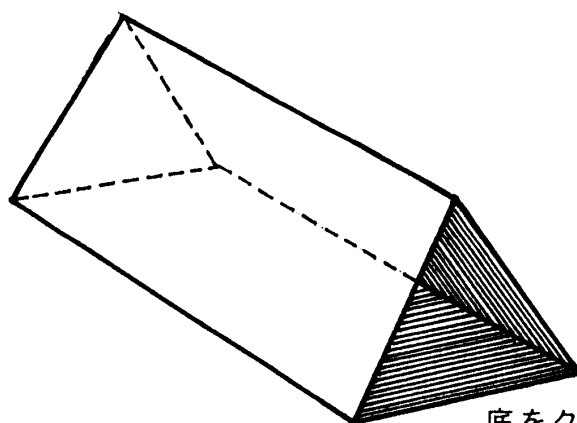
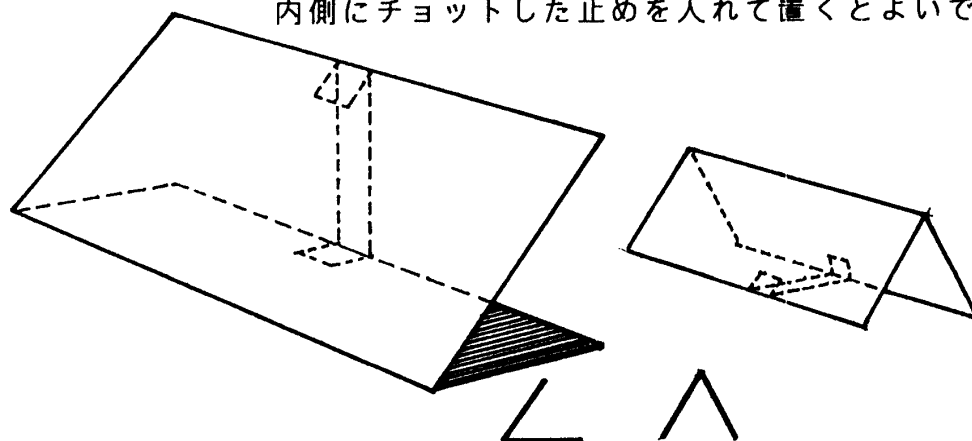
*ディスプレイ会社では、天井材を止めているビスをゆるめテグス（釣り糸）などで吊る。又はガンタッカーで止めています。

紙の簡単で効果的な看板本体を考える

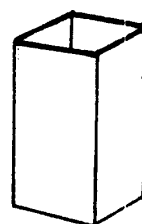
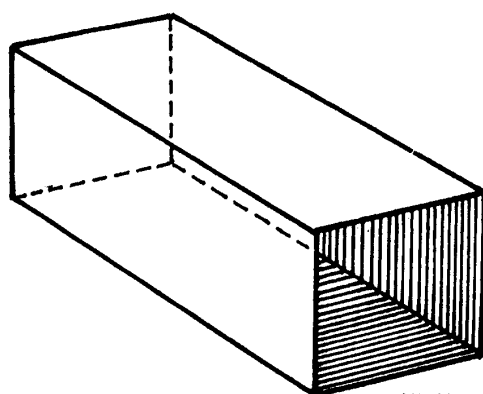
紙を折って作る

L型・△型・□型

一般的ですが、折った紙にももどる力が有りますので
内側にチョットした止めを入れて置くとよいです。



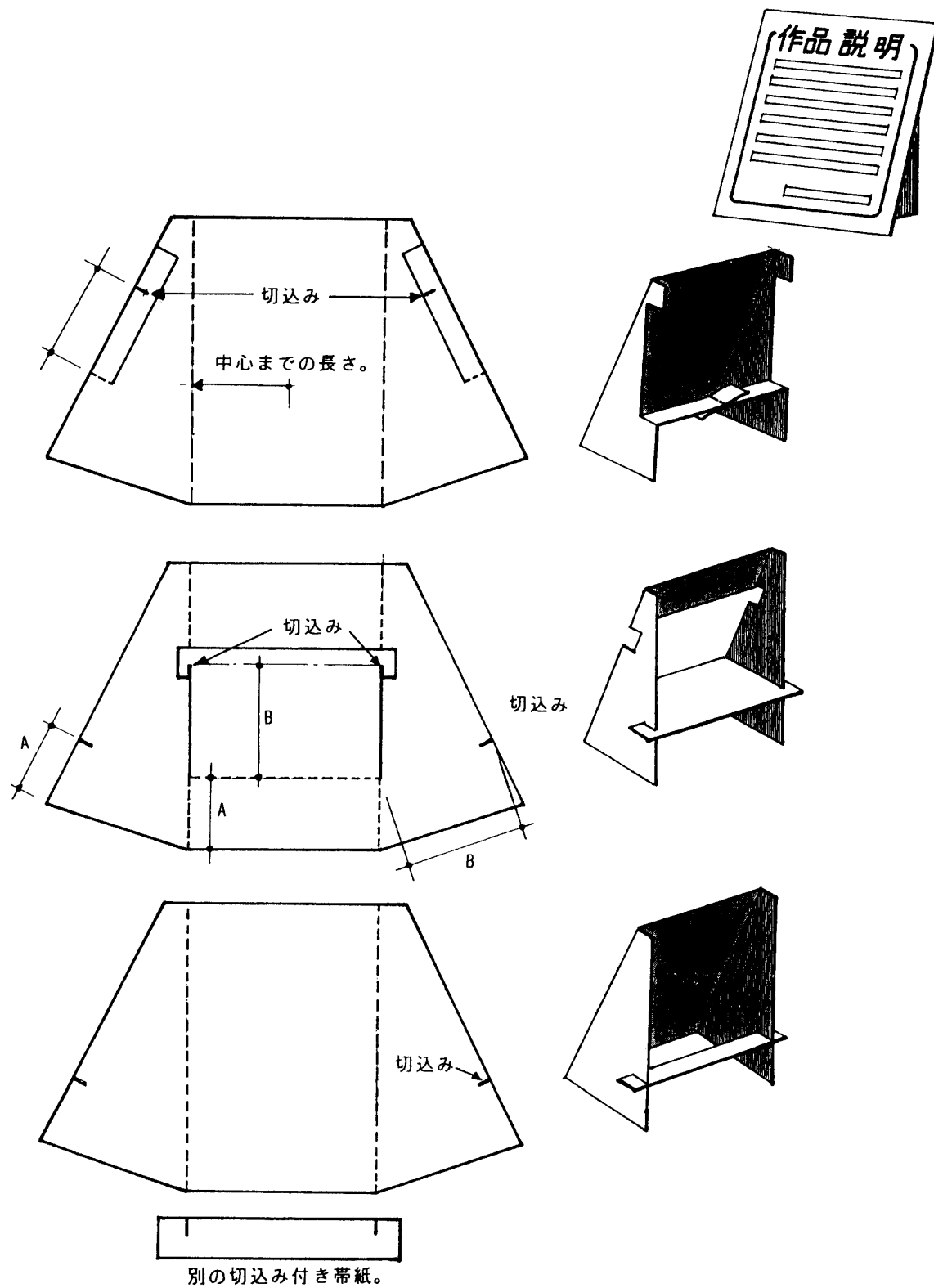
底をクリップで止める。
のりで接着しない場合は使用後は
平面にして収納できます。



横使いは、余り効果がない。
立てて使うと四面とも見ることができる。

紙足を作る

平面的なものの見せ方（ボード類の看板を立てて見せる）

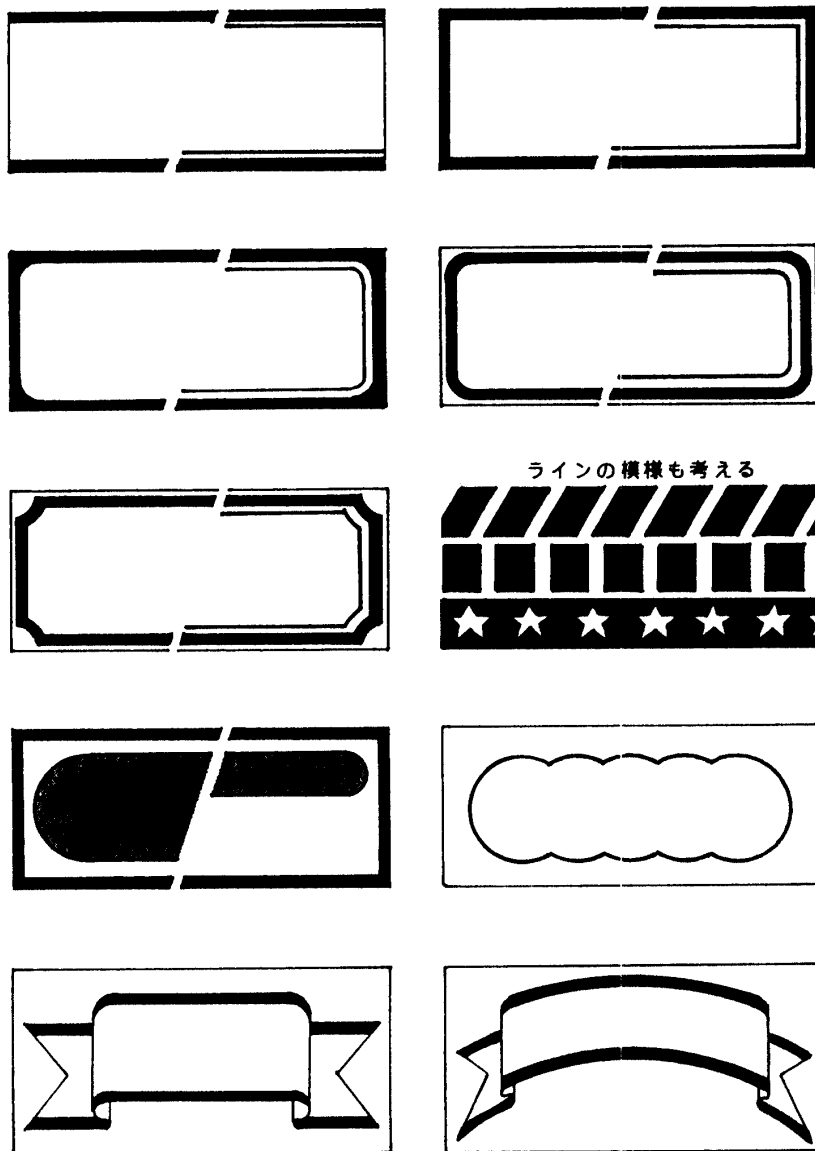


フレーム（枠線）

紙面に文字だけを書いてもよいのですが、フレームが入ることで見たい内容が引き締まって見えますし看板自体が楽しいものになります。

勿論、スペースの使い方としても利用できます。

色々なフレーム

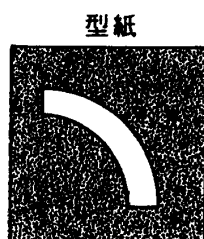


紙本体も考える

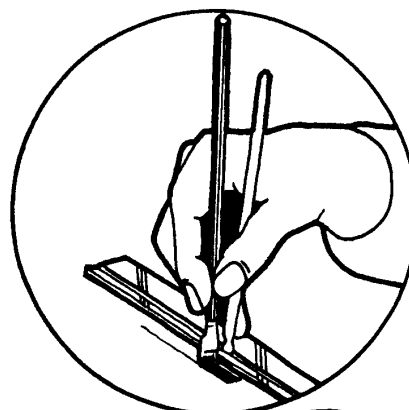
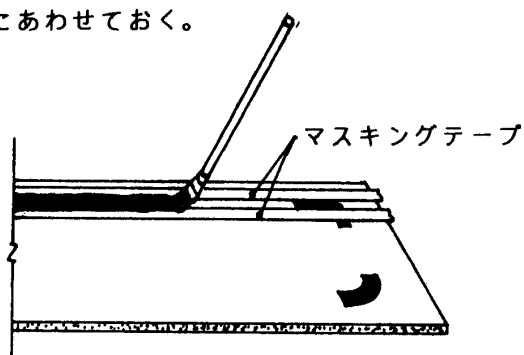
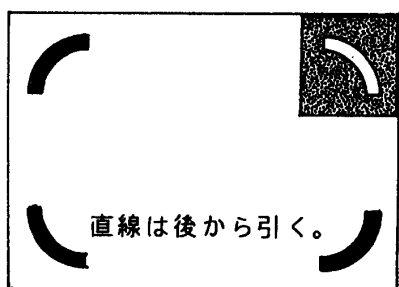
・*ボード・パネルは別として紙に書く場合は、四角い紙に直接書くのではなく花・虫・動物の形に切ったものを書きましょう。

アイキャッチ（目にとまる）の効果がります。

フレームを作る



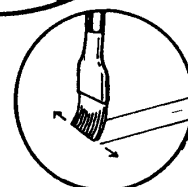
看板の端からの寸法にあわせておく。



筆で線を引く

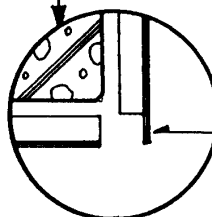
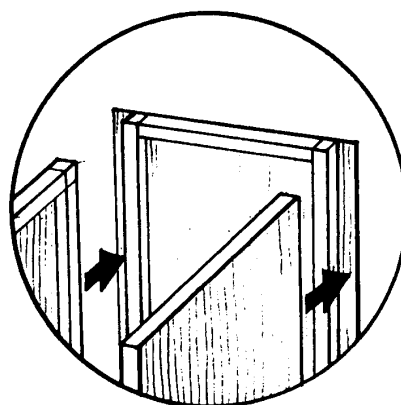
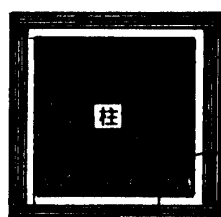
ガラス棒と筆を使って溝引き定規の溝にガラス棒を滑らせて線を引きます。
注意＝長い線は、手が伸びて行くのではなく、常に自分の体の前で引くようにします。

勿論 レタリング（作字）にも利用できます。



線の引き初めは平筆を上下にかるく動かすとよい。

柱巻看板の作り方

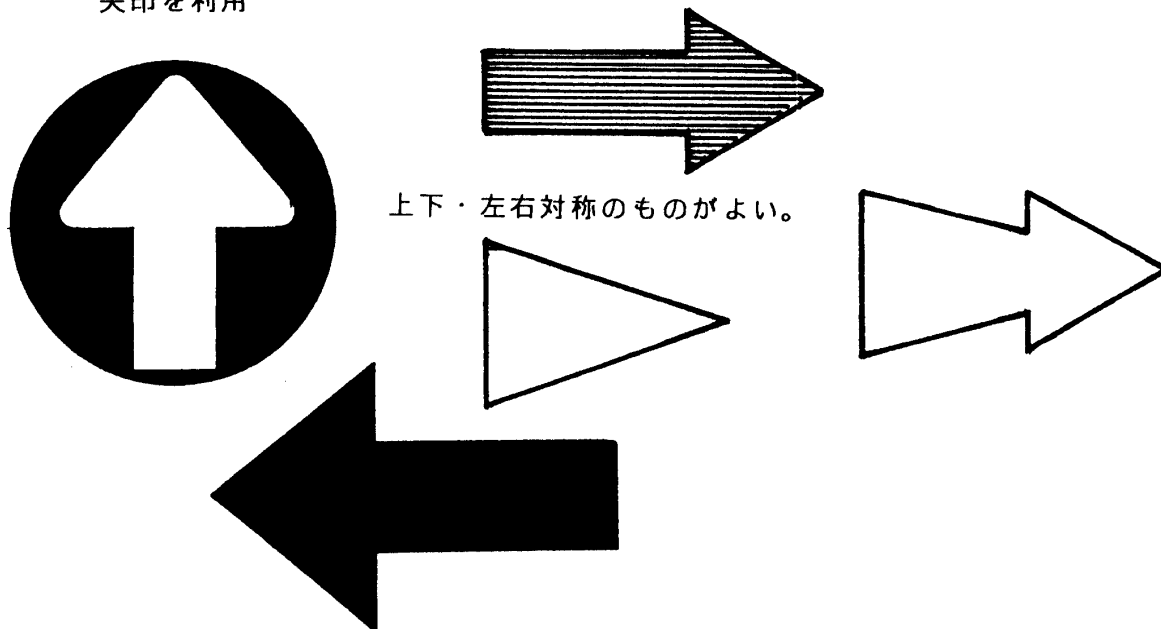


パネルの両端のベニヤを横にくるパネルの厚みだけあけておく。

* 四角い柱は勿論。丸い柱にも利用できます。

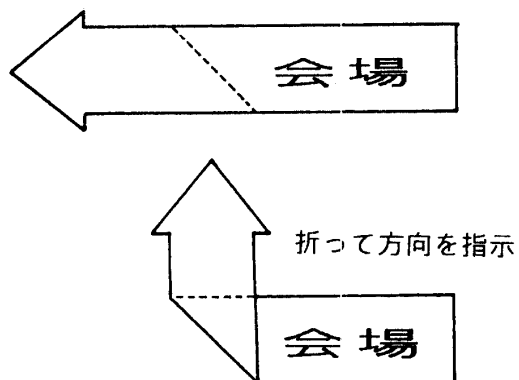
誘導を考える

同じコピーの看板を使う場合。
矢印を利用



これらは自由に方向が変えられますので指示方向が自由に選べます。
何度も使いたい場合は、画鋸・スプーレ糊などを使うとよいでしょう。

看板自体が矢印

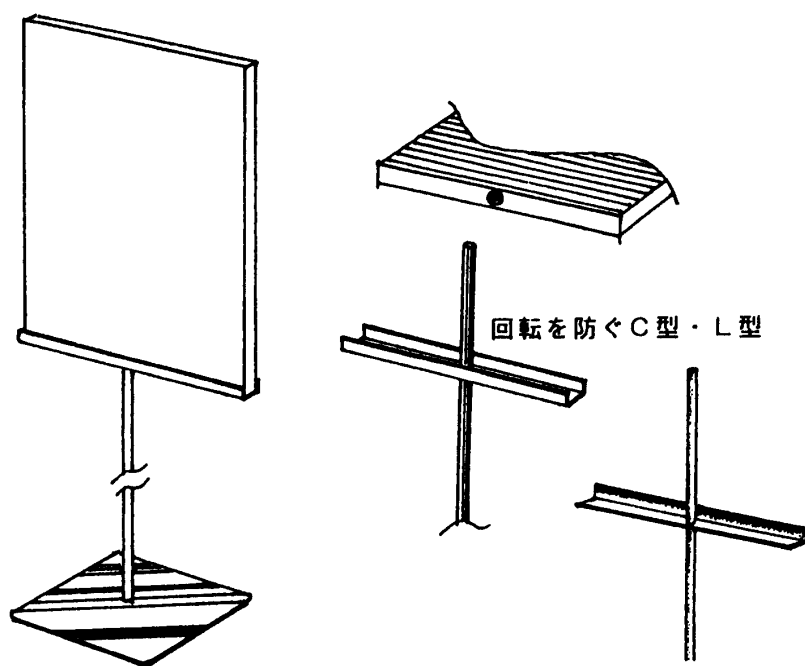
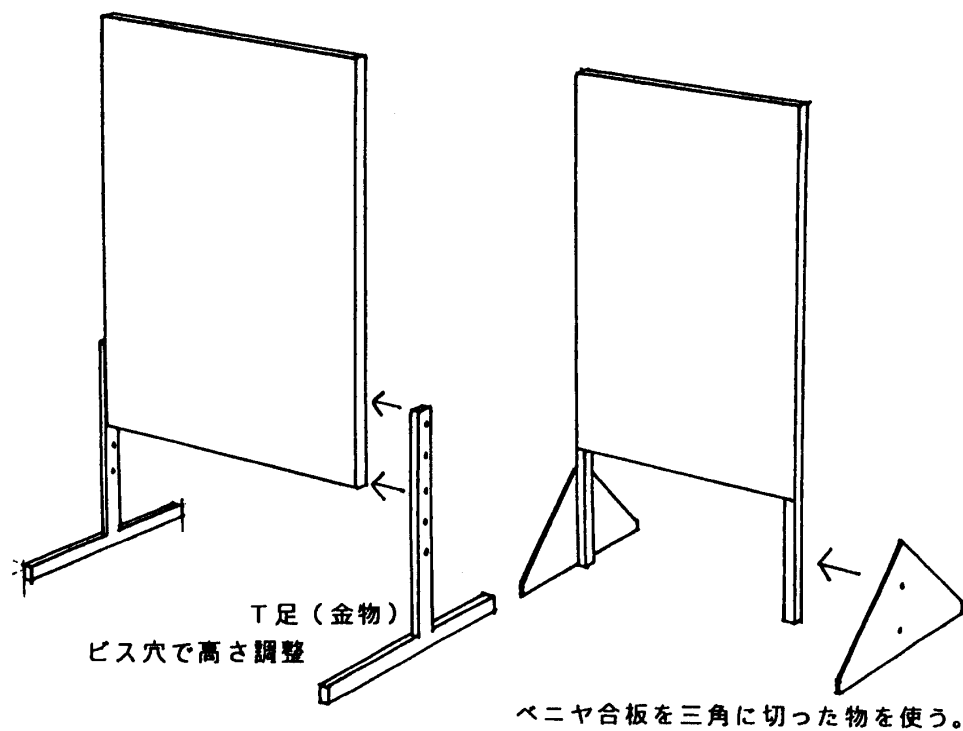


以外に邪魔になる足

設置する時には場所・取付方法で何時も問題になる。

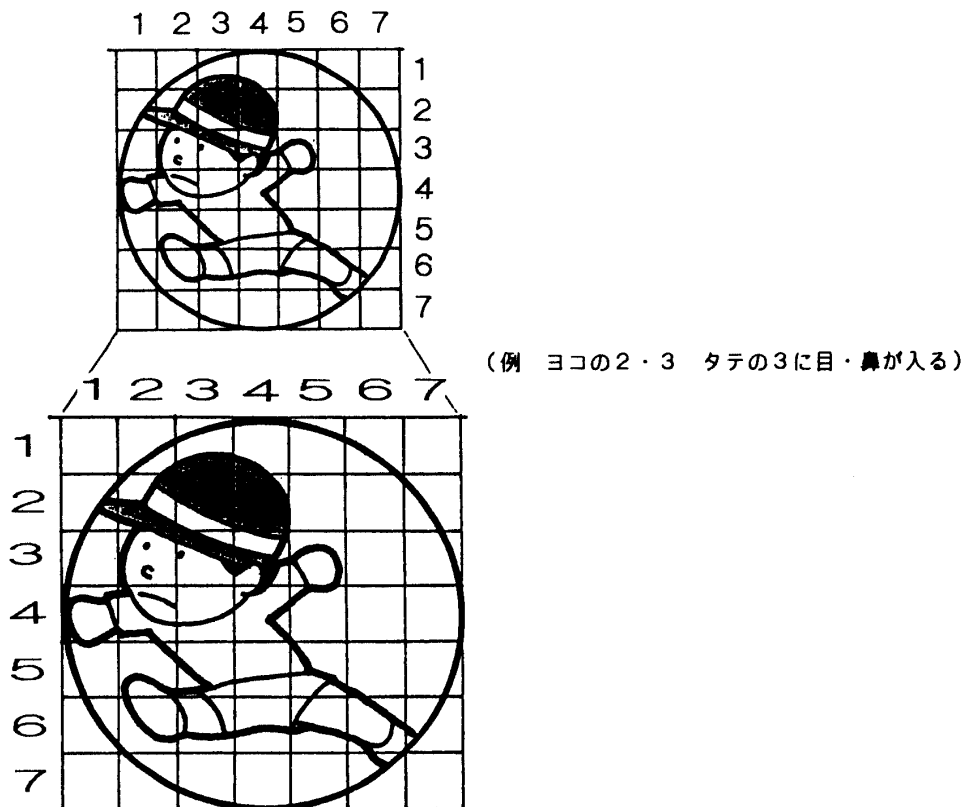
足（独自）で立てば置くだけですむのに・・・。

ところが、催事が終われば今度は収納に足が邪魔になります。



もう少し知っておきたい知識

図形の拡大



*大きくしたい絵や図（原画）にマス目を入れ。

（大切な物は、薄い紙の上から）

次に拡大したい比率でマス目を描き、大まかな形を写し取る。

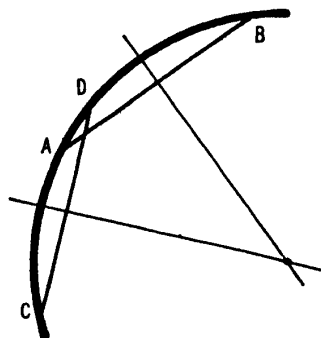
注意＝比率で線（絵）の太さも変わってしまいます。

線が細いと絵の感じが変わって見えます。

OHPを使って

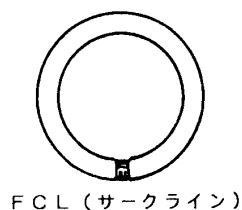
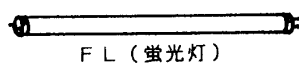
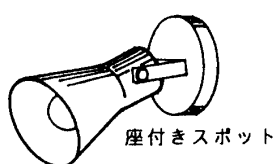
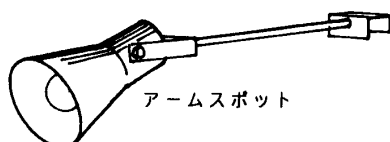
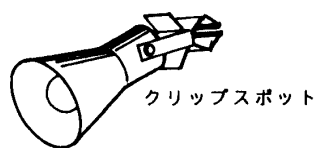
*特殊な絵やマークを大きく描きたい時は、まずOHPのシートに絵や図を写し取り（油性ペン）看板の下地に投影。それをなぞって写し取る。

円・円弧の中心を知りたいとき



円弧に二本（AB・CD）の線を引き互いの線の垂直二等分線の交わったところが円の中心です。

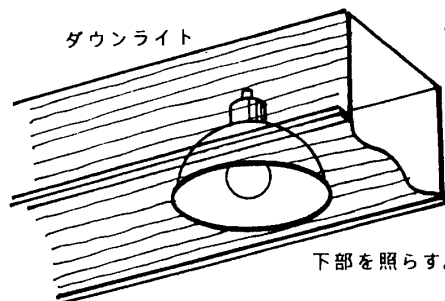
提示物を照らす 照明



P (ピン) スポット

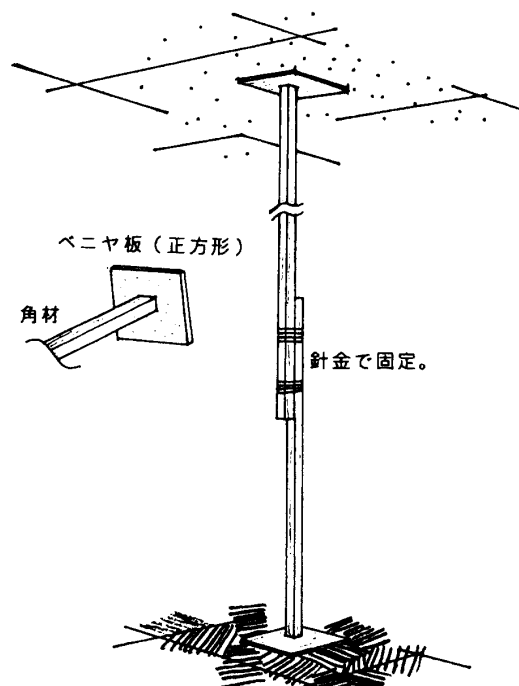


ダウンライト



これらは、特別な照明で
常設の展示場などに設置します。

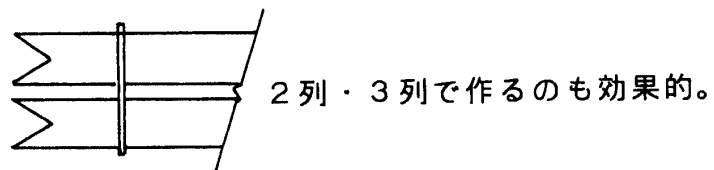
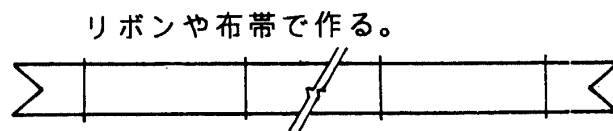
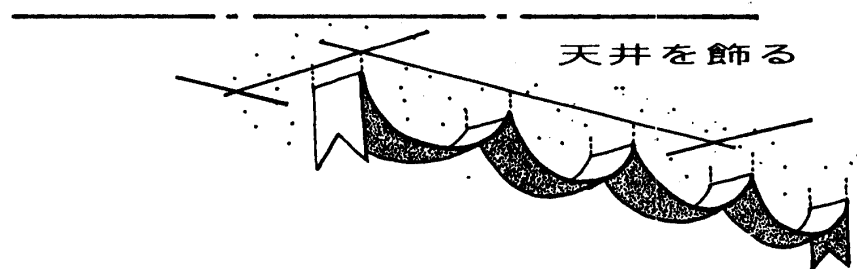
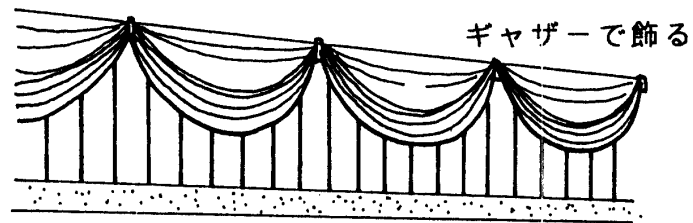
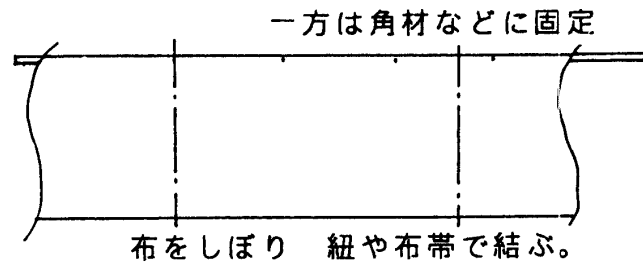
簡単な柱を作る



天井・床を傷つけないためにあてものを入れる。
(ダンボール紙など)

* 注意 強く押上ないように天井材は床ほど強くない。

手すりなどの飾り付け



〔1994年12月10日受理〕